

あずま小学校だより

学校通信

第6号 令和7年5月28日

学校教育目標 よく考える子 思いやりのある子 たくましい子



音楽集会有りました

5月20日(火)昼行事の時間に体育館で「第1回音楽集会」を行いました。音楽集会の目的は、全校で集まって歌ったり演奏したりすることで、みんなで歌い合わせる楽しさや、表現することの楽しさを味わうことです。また、他学年の歌声や合奏を聴くことにより、音の重なり的美しさを感じ取りお互いのよさを認め合う心を育てることで、あずま小学校では年間5回予定されており、2～6年生の5つの学年がそれぞれ行います。

今回は6学年が「明日という大空」を歌いました。きれいな声で上手に歌うことができました。その後は全校で校歌を歌いました。校歌は全員で歌うだけあって迫力がありました。校歌は学校を象徴するものとしてつくられた歌です。一緒に歌うとあずま小の一員であるという自覚が高まりますね。



5年生の感想掲示

ニュース掲示板の寄付がありました

第一工業様からの寄付により、朝日写真ニュースの学校掲示がはじまりました。朝日写真ニュースは、朝日新聞社が小学生を対象に発行している、写真と短い文章で世界や日本の出来事を分かりやすく伝える新聞です。新聞購読をしていないご家庭も増え、新聞記事を読む機会が減る中、こうした機会をいただきうれしく思います。図書室前の廊下に掲示してあります。ぜひ子どもたちに立ち止まって読んでほしいと思います。胸に焼き付けられる世界や日本の出来事があるかもしれません。第一工業様ありがとうございました。



読書推進活動(リーディングチャレンジ)について

あずま小では、リーディングチャレンジを行っています。学年に30冊ずつ読んでほしい図書を配置し、読んだ冊数や感想文、読書紹介カードの提出状況で完読賞やスーパー完読賞がもらえる読書推進活動です。

小学生の読書による効果は次のように言われます。「語彙力が身につく」「読解力が育つ」「論理的な思考力が育つ」「集中力が鍛えられる」「いろいろな知識が得られる」「想像力が豊かになる」特にこの中で小学生にとって大事なものは語彙力が身につくことです。作文等での文章表現は読んだ量が大きく影響します。また、思考する道具も言葉が基本です。この効果を考えると児童の成長にとって読書が大変効果的であることが分かります。でもなにより本には宝を手にしたときのような楽しいこと、うれしいこと、わくわくすることがたくさんあります。ときには、悲しくなったり切なくなったりすることもあります。ミッキーマウスの生みの親ウォルト・ディズニーはこうっています。「宝島の海賊たちが盗んだ財宝よりも本には多くの宝が眠っている。そして、何よりも、宝を毎日味わうことができるのだ。」

「宝島」とはディズニーの冒険映画で、わくわくドキドキの物語です。梅雨も近づき外で遊ぶことができない日も増えます。そんなときは読書をすすめたいです。図書館に行けば思わぬ宝が見つかるかも知れません。



読書紹介カードのコーナー

登下校時の学校周辺における駐停車について

登下校中に学校北側の道路に駐停車しての児童の降乗について危険であるとの意見をいただきました。停車中の自動車で渋滞が起こる場合もあり、横断する小中学生にとって危険な状況が発生しやすくなります。あずま小学校では、登下校や遅刻早退等で自動車送迎する場合、校地内に乗り入れ可能になっています。校地内での降乗にご協力ください。

右写真の横断歩道西の歩道沿いに停車しての降乗があり、自動車が膨らんで通行する危険な状況が発生しやすくなっています。



校外学習に行ってきました(2・3年)

5月22日(木)に2年生が、23日(金)に3年生が校外学習に行ってきました。2年生は「ぐんまこどもの国」、3年生は「昆虫の森」でした。2年生は天候が心配でしたが、朝の雨もあがり、むしろ陽の差す暑い中での実施となり、児童も全力で遊んだり学んだりできたと思います。誰も大きなけがや体調不良者もなく帰ってくることができました。

2年生校外学習



3年校外学習



JRC登録式・緑の少年団結団式を行いました



5月27日(火)昼行事にJRC登録式と緑の少年団結団式をリモートで行いました。JRC活動のスローガンは「気づき、考え、実行する」です。児童たちには、委員会活動や学級活動(学級の係活動など)の中で、気づいたことを実行するなどして、よりよい学級、よりよい



JRC登録式の様子

学校生活を自分たちの力でつくってほしいと話しました。

緑の少年団